

## 5 参考資料（用語解説）

### 【あ行】

#### ■ ICT 技術：アイ・シー・ティー技術

情報通信技術のこと。公共交通においては、運行状況などの情報取得（バスロケーションシステム等）や MaaS、IC カードによる決済など、様々な部分で活用されている。

#### ■ アナログでの乗合いマッチング

愛のりタクシーにおいて、人の手で利用者の予約を取りまとめ、迎車希望時刻や経路などから乗り合わせを計算すること。

#### ■ インバウンド

訪日外国人観光客のこと。公共交通においては、表示の多言語化など外国人の利便性向上のための対策をインバウンド対策と呼ぶ。

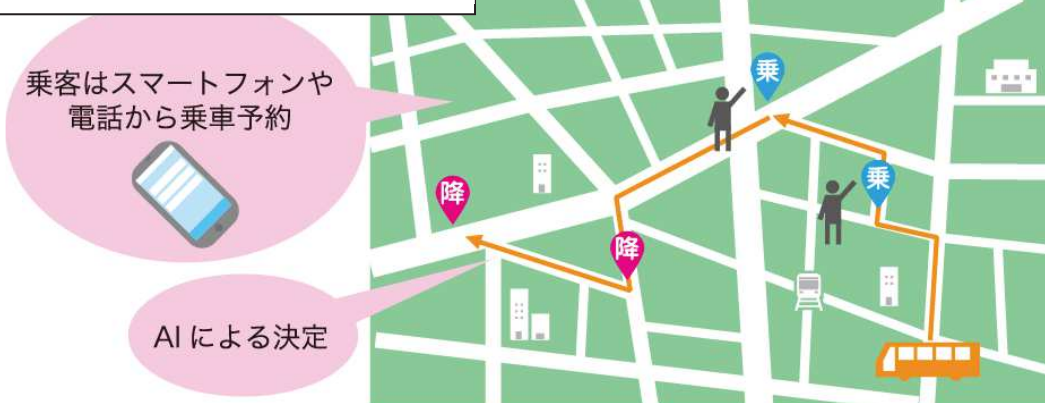
#### ■ AI（技術）：エーアイ（技術）

Artificial Intelligence（アーティフィシャル・インテリジェンス）の略で、人工知能のこと。公共交通において運行予約にこの AI 技術を活用すると、予約状況に応じて最適な運行経路が自動的に算出され、到着時刻や所要時間を入手することができるようになり、利用者の利便性と事業者の効率的な管理が実現できる。

#### ■ AI デマンドシステム

AI 技術を活用した、利用者の要求（予約）に合わせて自宅から目的地まで「Door to Door（ドア・ツー・ドア）」での運行を実現する仕組みのこと。

#### A I デマンドシステムのイメージ



出典：国土交通省ウェブサイト

(<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/measures/index.html>)

#### ■ オフピーク時

混雑していない時間帯のこと。⇔ ピーク時。

#### ■ オペレータ

コールセンターで、メールや電話で顧客対応を担当する人員のこと。電話交換手。

## 【か行】

### ■ 外出率 (P.40 再掲)

5歳以上の住民のうち、1日において外出した人の割合のこと。

### ■ キャッシュレス (決済)

鉄道やバスなどの利用時に、現金で切符を購入せずに、ICカードやスマートフォンのアプリケーションなどで決済を行うこと。

### ■ グロス生成原単位 (P.40 再掲)

5歳以上の住民の、外出しない人を含めた1人・1日の平均したトリップ数のこと。

### ■ 公共交通勢力圏

鉄道駅のサービス圏域を1km、バス停留所のサービス圏域を300mとした場合の路線バスがカバーする地域のこと。

### ■ 交通結節点

駅前広場のように、鉄道・バス・タクシーなど複数の交通手段をつなぐ場所・施設のこと。

### ■ 国鉄胆振線代替バス

日本国有鉄道（国鉄）による伊達紋別駅と倶知安駅を結ぶ鉄道路線「胆振線」に替わって運行する、倶知安町から京極町、喜茂別町、壮瞥町、伊達市までのバス路線のこと。倶知安町から伊達地域までを運行する倶知安伊達線のほか、伊達地域から大滝区までを運行する伊達大滝線、倶知安町から喜茂別町までを運行する京極線がある。

### ■ 国鉄胆振線代替輸送確保基金

国鉄胆振線の廃止によって沿線自治体に交付された、特定地方交通線転換交付金を原資として積み立てた基金のこと。代替輸送に係る経費に充てることが可能。

## 【さ行】

### ■ サイネージ、デジタルサイネージ

公共交通の案内や時刻表などの情報を利用者に提示するために、乗継拠点に設置する電子掲示板のこと。バスロケーションシステムでは、情報発信のために使用される。

### ■ シームレス化

複数の交通手段の接続性を改良すること。交通のシームレス化の取組としては、交通結節点整備などのハード整備から、運行方法の改良や、公共交通機関間のダイヤの調整、情報を取得するうえでの障壁の排除等、ソフトのサービスまで幅広い取組が含まれる。

### ■ シームレス交通

シームレス化された交通手段。

## 【た行】

### ■代表交通手段

トリップで利用した主な交通手段のこと。一つのトリップで複数の交通手段を利用した場合、主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪車→徒歩の順としている。

### ■地域間幹線系統

複数市町村にまたがって運行し、1日当たりの計画運行回数が3回以上、乗車人数が1日15人～150人、経常赤字が見込まれるなどの一定の条件を満たす路線バスなどをいう。

### ■地域内フィーダー系統

複数の市町村をまたがって走る地域間幹線系統などの基幹的公共交通（都市間バスなど）に対し、その基幹的公共交通に支線として接続して1つの地域内を運行するバス路線（コミュニティバスなど）。

### ■デマンド型交通

利用者の要求（予約）に合わせて自宅から目的地まで「Door to Door（ドア・ツー・ドア）」で運行する交通形態のこと。AI技術を用いない場合は、電話での予約受付と、人の手による配車が行われる。

### ■トリップ（P.40再掲）

移動目的を達成するための出発地から目的地までの移動を1トリップとカウントするもので、パーソントリップ調査では、移動目的に加え、利用した交通手段や移動時間帯などの状況も調査している。

## 【な行】

### ■二次交通

旅行などで、拠点となる駅などから目的地までの移動に利用する交通機関のこと。

### ■ネット生成原単位（P.40再掲）

5歳以上の住民の、外出した人に絞った1人・1日の平均したトリップ数のこと。

## 【は行】

### ■パーソナルモビリティ

徒歩と自動車の中間的な移動手段として開発された、1～2人乗りの次世代自動車の概念のこと。主に自動で動くものを呼び、自転車等は含まれない。代表的な例としてセグウェイ（電動立ち乗り二輪車）があげられる。

### ■バスマップ

路線バスの経路を地図上に示した路線図のこと。

## ■バスロケーションシステム

GPS などを利用してバスの位置情報を収集し、利用者に対してバスの現在位置や到着予想時刻などの有益な情報を提供するシステムのこと。伊達市内では、道南バス(株)による「バスキタ！道南バス」が提供されている。

バスキタ！道南バスのチラシ

## ■バリアフリー

高齢者や障がい者が社会生活を送るうえで障壁となるものが取り除かれた状態のこと。道路や建物の段差や仕切りなど、物理的な障壁だけでなく、制度や意識なども含め、様々な障壁が無い状態のこと。

## ■ポーターサービス

空港利用者の荷物を、最寄りの駅やバス停からチェックインカウンターまで代わりに運搬するサービスのこと。

## 【ま行】

### ■ MaaS (Mobility-as-a-Service) : マース (モビリティ・アズ・ア・サービス)

スマートフォンのアプリケーションなどにより、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービスで、新たな移動手段（シェアサイクル等）や関連サービス（観光チケットの購入等）も組み合わせることができるもの。

出典：国土交通省ウェブサイト

MaaS のイメージ



(<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/index.html>)

## 【や行】

### ■ユニバーサルデザインタクシー

健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい"みんなにやさしい新しいタクシー車両"で、平成 24 年から国の認定制度が始まり、車いすにも利用できるスロープが標準装備されているタクシー車両のこと。

## 【ら行】

### ■ライドシェア

タクシーではない一般のドライバーが、自家用車で相乗りを希望する人を輸送するサービスのこと。日本では営利を目的とした運賃収入を得ることは禁じられている。

### ■ライフモビリティサービス

あらかじめ登録を行った会員が電話などで予約を行うことで、自由にまちなかの移動ができる予約制、乗合制の地域交通システムのこと。

## 【わ行】

### ■ワンストップ機能

ひとつの場所で様々なサービスが受けられる仕組みのこと。公共交通においては、複数の交通手段の情報を 1 か所で得られる仕組みなどを指す。